

分野	これまでの取組	R7年度	将 来 像
----	---------	------	-------

行政	○電話、F A Xを多用して災害被害・避難状況等、災害関係情報を伝達、共有【総務部】 ○県・市町村が、デジタル関係知識を有する職員を個々に確保・育成【企画振興部】 ○県事務の効率化及び情報の共有のためのソリューションの導入【企画振興部等】	○デジタル技術を活用した防災力の強化 【<u>継</u>】次期総合防災情報システムの整備【総務部】 ・災害に強い通信ネットワークと、市町村との高い情報共有力を備えた総合防災情報システムを新たに構築する ○市町村組織におけるデジタル人材の確保 【<u>新</u>】県と市町村の連携によるデジタル人材の確保方策の構築【企画振興部】 ・市町村組織におけるデジタル人材の不足に鑑み、県がデジタル関係業務に係るアドバイザーを派遣するとともに、県と市町村が連携して人材の確保・育成にあたる仕組みを検討・構築する ○デジタル技術の活用による県事務の効率化 【<u>新</u>】コラボレーションツール導入事業【企画振興部】 ・作業時間の短縮、移動コストの削減、情報共有の迅速化・高度化のため、チャット、Web会議、共同編集、メール、スケジュール等の機能が連動したコラボレーションツールを職員のパソコンに導入する 【<u>新</u>】三次元レーザー計測図化システム整備【警察本部】 ・刑事事件における捜査等の効率化のため、3 D処理及び図化システムを導入する	○災害関係情報の迅速な伝達と速やかな共有により災害対応の精度を向上 ○県と市町村がデジタル人材確保のため人材プール、育成ノウハウなどを共有 ○事務作業を省力化、効率化するとともに、場所や時間にとらわれない多様な働き方に対応できる環境の構築 ○デジタルソリューション導入による業務の効率化や時間外労働が常態化している部署の解消
----	--	--	--

産業	○I o TやA Iなど先進技術導入に係る事例等の情報提供や研修の実施【産業労働部】 ○企業間・産学官の連携でD X推進や地域課題解決を図る取組の実践【産業労働部】 ○スマート農業技術の実証・普及、スマート農機の省力・低コスト化の検証【農林水産部】 ○スマート林業の実践フィールドの整備、木材生産スマート化モデルの確立に向けた現場実証【農林水産部】 ○3市でのモデル実証をもとに秋田観光DMPを構築【観光文化スポーツ部】	○県内企業のD Xの推進 【<u>継</u>】地域密着型DX支援事業【産業労働部】 ・県内I C T企業と商工団体等の支援機関が、県内企業のD X戦略策定・実行を伴走支援する ○企業等の連携による先進技術を活用する取組の促進 【<u>新</u>】情報関連産業の発展に向けた実証ラボ運営事業【産業労働部】 ・県内I C T企業と県内大学の連携によるデジタル社会構築に向けた取組を支援する ・デジタル技術を活用した地域課題の解決、新技術・新商品の共同研究等を推進する 【<u>新</u>】社会課題・ヘルステック産業創出事業【産業労働部】 ・新分野に参入する企業の育成のため、社会課題の解決を技術開発テーマとする機器・システム等の新規開発を支援する。また、ステークホルダー間のマッチングやS N S等を活用した情報発信を通して、社会課題解決を目指す取組の活発化を図る ○農業生産へのデジタル技術導入の推進 【<u>継</u>】サキホコレ！トップブランド確立事業【農林水産部】 ・リモートセンシングによる地力マップ、生育マップを活用した、特別栽培「サキホコレ」の高品質・安定生産に対応する栽培管理システムの効果検証を行う 【<u>拡</u>】災害に強い果樹D X推進事業【農林水産部】 ・発芽・開花予想プログラムにおいて、予測根拠をアメダスデータからメッシュ気象データに変更し、地図上で園地を選択して生育予想を表示させるように改修するとともに、低温情報システムを連動させ、直接農家に情報発信するように改修する ○木材生産のスマート化の推進 【<u>継</u>】木材生産スマート化推進事業【農林水産部】 ・木材生産における労務不足に対応するため、川上から川中までの一連の作業システムをスマート化したモデルを確立し、省力化や低コスト化を図る ○デジタル技術を活用した観光施策の推進 【<u>継</u>】データに基づく観光戦略推進事業【観光文化スポーツ部】 ・秋田県観光DMPの分析精度の向上に向けて、データの質と量の更なる充実を図るほか、観光事業者におけるデータ活用のスキルアップに向けて、専門人材を育成する	○デジタル技術活用の意識が醸成され、あらゆる産業においてデジタル化、D Xが普及 ○デジタル技術を活用する県内企業の裾野を広げて新たなビジネスモデルや製品・サービスを創出するなど生産性を向上、競争力を強化 ○持続的・効率的な農業生産体制の確立 ○効率的な木材生産・流通体制の確立 ○データ分析等に基づく自立した稼ぐ観光エリアの形成
----	---	---	--

分野	これまでの取組	R7年度	将 来 像
く ら し	○美術館・博物館のデジタル環境整備やコンテンツのデジタルデータ化【教育庁】 ○河川砂防情報システムや道路情報システムの機能拡充【建設部】 ○暮らしに関わる県政情報を多様な媒体で発信【関係部】 ○医療・介護分野へのデジタル技術の導入支援【健康福祉部】 ○AIやVR等デジタル技術を活用した移住サポートの充実【あきた未来創造部】	○美術館・博物館における新しい価値の創出 【 <u>拡</u> 】 <u>あきたMuseum機能強化事業</u> 【教育庁】 ・全県の博物館等施設が参加可能なデジタルアーカイブの基盤システムを構築する ・美術館・博物館のデジタルアーカイブ、メタバース、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツを整備・拡充する ○防災力の向上 【 <u>新</u> 】 <u>太平川のリアルタイム水位予測システムの運用</u> 【建設部】 ・令和5年に大きな水害をもたらした太平川において、新たな水位予測システムを運用し、災害対応に活用する ○暮らしに関わる県政情報の提供のデジタル化 【 <u>拡</u> 】 <u>あきたの出産・子育て応援事業</u> 【あきた未来創造部】 ・本県での子育てに前向きな意識を醸成するため、妊婦や子育て家庭、これから親になる世代に対し、本県の子育て支援施策等について情報発信する 【 <u>拡</u> 】 <u>消費生活安全・安心事業</u> 【生活環境部】 ・消費者問題（悪質商法、特殊詐欺等）について県民に広く注意喚起を図るため、動画を作成し、ウェブ広告及びデジタルサイネージ広告を実施する ○急性期診療の充実 【 <u>継</u> 】 <u>急性期診療ネットワーク推進事業</u> 【健康福祉部】 ・救急搬送を受け入れる救急告示病院で構成される協議会が行う、急性期疾患に対応するための遠隔画像連携システムの導入を支援する ○介護施設への介護ロボットやＩＣＴ導入支援 【 <u>継</u> 】 <u>介護業務「カイゼン」推進事業</u> 【健康福祉部】 ・介護ロボットやＩＣＴ機器等を導入する介護サービス事業者に経費の一部を助成する ○デジタル技術の活用による新たな人の流れの創出 【 <u>新</u> 】 <u>関係人口による「あきたの物語」拡大事業</u> 【あきた未来創造部】 ・「あきたの物語」を見える化するため、地域の様々なコンテンツを発掘・発信するとともに、地域団体が記事を編集する機能を実装する	○文化遺産の保存・継承、地域文化の活性化、双方向的な学びの促進など、美術館・博物館における新しい価値の創出 ○インフラ等に関する防災情報提供の充実・高度化と災害対応の迅速化 ○県民による各種県政情報へのアクセスの迅速化・効率化 ○医療サービス提供の迅速化 ○介護従事者の負担軽減や業務効率化による介護サービス供給力の確保 ○デジタル技術を活用し、秋田のくらしや仕事への理解が深まることによる新たな人の流れの創出
	環 境 基 盤	○学校と県内ＩＣＴ企業の連携によるデジタル人材の育成【産業労働部、教育庁】 ○庁内職員のデジタルリテラシー向上のための各種研修の実施【企画振興部】 ○情報関連産業を牽引するＩＣＴ企業の創出に向けた取組【産業労働部】 ○デジタルデバイドを減らすため、スマートフォンの操作体験会の実施とデジタル活用サポーターの育成【企画振興部】 ○県民がデジタル技術を身近に感じることができる体験型イベントの開催【企画振興部】	○デジタル人材の確保・育成 【 <u>継</u> 】 <u>県内ＩＣＴ企業インターンシップ情報発信強化事業</u> 【産業労働部】 ・県内ＩＣＴ企業における情報発信ツールを活用したインターンシップの取組を支援する 【 <u>継</u> 】 <u>デジタル人材育成事業</u> 【企画振興部】 ・庁内のデジタル人材育成のため各種研修を実施する ○情報関連産業の強化 【 <u>継</u> 】 <u>デジタル牽引企業創出支援事業</u> 【産業労働部】 ・県内の情報関連産業を牽引するＩＣＴ企業への支援 ・県内ＩＣＴ企業の成長戦略に基づく開発費や販路拡大費、資格取得費等を支援する ○人に優しいデジタル社会の実現 【 <u>拡</u> 】 <u>高齢者向け「デジタル生活」わくわく体験事業</u> 【企画振興部】 ・学生講師による何でもスマホ相談会の回数を増やすほか、スマホ操作体験会についてイベント等との連動や未開催地域での開催など、市町村等の要望に応じてきめ細かく対応する 【 <u>継</u> 】 <u>Let'sコネクト！デジタル未来ふれあい事業</u> 【企画振興部】 ・県民がデジタル技術を身近に感じることができるよう、暮らしに関わるサービスなどについての体験型イベントを開催する